



すべての女性と赤ちゃんに笑顔を！

# 母性看護学・助産学教室



所在地：医学部5号館314号室  
Tel & Fax: 03-5841-3396  
E-Mail: bouseikango@m.u-tokyo.ac.jp  
http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/midwifery/

## 母性看護学・助産学とは？

- ◆ 妊産褥婦および新生児への看護活動に加え、女性の生涯を通じた健康を支援する専門領域です。
- ◆ 助産のプロフェッショナルリズムと卓越した学識、高度な独創的研究能力と豊かな人間性を備えた国際的リーダーに必要な能力を身につける人材の育成を目指しています。

## 母性看護学・助産学分野 研究プロジェクト

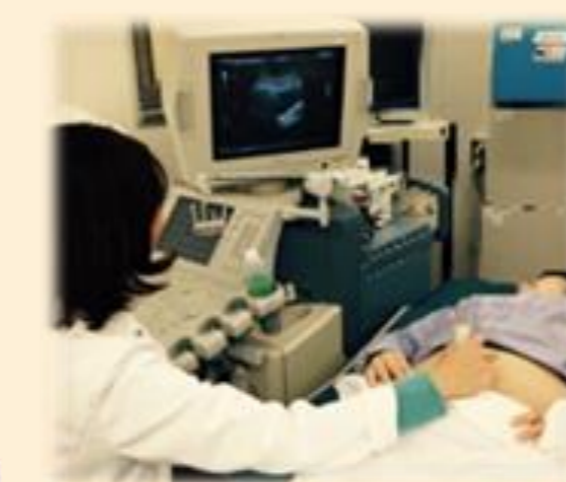
### Project A : 妊娠

- ・妊娠中のHealthy Lifestyle調査 (栄養・体重・運動・睡眠・就労)
- ・周産期のメンタルヘルス



### Project B : 出産

- ・出産恐怖感/産後トラウマ
- ・エコーによる分娩技術の評価
- ・エルサルバドルの出産時ケア / 妊産褥死亡・ニアミス調査



### Project E : 女性の健康

- ・働く母親・女性の健康支援
- ・プレコンセプション(妊娠前)ケア
- ・母乳育児支援



## Respectful Maternity Care

### Project D : 新生児

- ・新生児のスキンケア
- ・新生児の皮膚バリア機能
- ・乳児アレルギー予防



### Project C : 産後

- ・産後排泄障害ケア方法の確立
- ・バイオフィードバックを用いた骨盤底筋トレーニングの効果検証

## 【2021年度 教室員】

教授 春名めぐみ  
 助教 笹川恵美  
 助教 米澤かおり  
 助教 臼井由利子  
 事務員 1名  
 大学院生 23名  
 (博士11名 修士12名)  
 卒論生 2名



大学院修士課程には2つのコースがあります  
 ・助産師教育コース (助産師資格を取得)  
 ・研究コース

## 実施中のプロジェクト

### 保健指導のエビデンスの創出

- ・健康的なライフスタイル：適切な栄養・体重管理 運動・身体活動・睡眠・メンタルヘルス
- ・モンゴルにおける妊婦の受動喫煙の実態調査

### 安心できる出産の支援体系構築

- ・経会陰超音波による分娩技術の評価
- ・出産恐怖感と心理社会的要因の検討
- ・ポジティブな出産体験のための助産ケア
- ・エルサルバドルでの安全な出産・出生のための戦略



### 産後のボディ・マネジメント支援体系構築

- ・産後の骨盤底障害
- ・産後女性の乳腺炎・乳房膿瘍のリスク要因

### 新生児に対する保健指導エビデンスの創出

- ・効果的な新生児皮膚トラブル予防法の開発
- ・スキンケアによる皮膚バリア機能・常在菌叢の変化

### 女性の健康への支援

- ・働く母親・女性の健康支援
- ・プレコンセプションケア



## 卒業後の進路

### ① 臨床での学びを研究に活かす

助産師として  
病院勤務  
2~10年以上

大学院  
修士課程2年  
博士課程3年

大学・研究所で  
研究者

### ② 国際経験へ活かす

大学院  
修士課程2年  
博士課程3年

助産師として  
国内病院勤務

国際協力機関  
NGOなどで  
海外支援

### ③ 修士課程で研究と助産を学ぶ

大学卒業

修士課程  
助産実習  
修士論文

臨床現場での  
助産師・研究者

## これまでの卒業論文テーマ例

“Allocation and training of male midwives: An ecological study in 77 countries”

「日本人女性の妊娠中期・後期における  
つわりの有病率と関連要因：縦断研究」

「文京区在住の既婚者における理想の子ども数より  
予定の子ども数が少ない要因」

「妊娠中期の日本人女性の身体活動量とその関連因子」